

## 指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和4年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)  
年間 (4月～3月))

施設名	五日市ファインプラザ	指定管理者	シンコースポーツ株式会社
指定期間	平成31年4月1日から 令和6年3月31日まで	担当課	スポーツ推進課

### 1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	334	333	99.7%	
	延べ利用者数 (人)	195,000	133,919	68.7%	
	事業開催 回数	必須事業 (回)	225	131	58.2%
		自主事業 (回)	866	687	79.3%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	102,590,508	102,590,508	100%
		利用料金収入(売上) (円)	22,656,000	14,925,320	65.9%
		自主事業収入 (円)	17,817,250	5,405,484	30.3%
		その他の収入 (円)	300,000	12,565,771	4188.6%
	収入計 (円) …①		143,363,758	135,487,083	94.5%
	支出	人件費 (円)	52,710,198	66,338,280	125.9%
		維持管理経費 (円)	66,731,535	73,818,807	110.6%
		自主事業関係経費 (円)	14,228,673	6,568,283	46.2%
		その他の支出 (円)	0	0	-
	支出計 (円) …②		133,670,406	146,725,370	109.8%
	収支 (①-②) (円) …③		9,693,352	△11,238,287	-
	諸経費 (本社運営費など) …④		-	-	-
総収支 (③-④) (円)		9,693,352	△11,238,287	-	

#### 指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<p><b>【開館日数・利用者数について】</b></p> <p>○開館日数 年間で333日開館しました。 12月10日(土)は、断水のため休館しました。</p> <p>○利用者数 個人利用者数70,496人、団体利用者数63,423人、合計で133,919人であり、年間の計画に対して68.7%でした。コロナ対策の緩和により、R3年度に比べて44,391人増ですが、個人、団体ともに利用者数がコロナ禍前と比べて戻っていない状況です。</p>	<p><b>【事業の実施状況について】</b></p> <p>○必須事業 週間事業として6月よりアクアピクスを再開しております。アクアピクスについては、毎週月・木曜日、親子自由開放については、毎週火曜日の午前中に実施しました。</p> <p>月間事業としては、8月より障がい児水泳教室を再開しております。</p> <p>障がい児水泳教室については、毎月第4土曜日に実施しました。</p> <p>○自主事業 4月、5月については、一部のみ教室を再開しておりましたが、6月以降全ての教室事業を再開しました。収支改善のため、12月以降自主事業25教室中集客の見合わない4教室を中止しました。物品販売については、昨年度に引き続き、</p>	<p><b>【収支状況について】</b></p> <p>○収入 利用料収入は、年間計画に対し65.9%、自主事業収入は30.3%となりました。下半期には、あきる野市内者、市外者に対して施設案内や教室、個人利用の紹介についてチラシを作成、ポスティングを行い、HPやSNSを活用し宣伝しました。上半期に集客回復が停滞しておりましたが、年間ではプール利用料はR3年度に比べ、2,291,570円増、トレーニング室利用料は、246,380円増となっておりますが、年間計画に対しては未達となりました。</p> <p>○支出 年間計画に対して支出は、109.8%となりました。最低賃金の増加による人件費の増額と、光熱水費の増額が原因となってお</p>
---	---	---

	焼き芋販売を行い、コロナ対策緩和と同時に、アイス、パン、プロテイン等の食品類の販売を開始しました。また、季節に合わせた衣類の期間限定販売などを行い、月ごとに新商品を取り入れました。	ります。
--	--	------

所管課の評価（指摘事項）		
<b>【開館日数・利用者数について】</b> 新型コロナウイルス感染症対策による利用制限が、緩和されつつあり、コロナ禍以前の運営に戻りつつあります。そのため、令和3年度と比較して利用者が増加しております。引き続き、利用者が安全安心に施設を利用できる運営を心がけ、利用者が戻りやすい運営に努めてください。	<b>【事業の実施状況について】</b> 新型コロナウイルス感染症対策による利用制限が、緩和されつつあり、事業については、概ね実施できました。引き続き、安全に配慮しながら、さらなる創意工夫に努め、利用者が参加しやすい事業の取組を進めてください。	<b>【収支状況について】</b> 収入については、昨年度と比較して、利用料金収入や自主事業収入が増加しています。しかしながら、年間計画に対しての達成率が低く、利用者の増加につながる施設運営に努めてください。 支出については、最低賃金の上昇による人件費の増加や光熱水費の高騰により、年間計画に対して増加しております。引き続き社会情勢に注視しつつ、工夫しながら、経費削減に取り組んでください。

## 2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負っていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的	広報紙、チラシ、ホ	適正・要改善	適正・要改善

	に事業等を周知している		ホームページ、SNS		
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	9人	人員配置計画、実地、出勤簿	9人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	2回/年	研修マニュアル	実施回数 2回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者、地域住民の雇用促進に努めている	5%	人員配置計画	66% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守やハラスメント対策など、労働環境への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿、就業規則等	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<p>総利用者数は133,919人で前年比149.6%となりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響をほとんど受けていない令和元年の来場者数175,730人に対して、R4年度は76.2%まで回復しておりますが、年間計画に対しては未達となりました。R4年度には、利用制限はR3年度に比べ緩和されていますが、R4年度も引き続き新型コロナウイルスの影響を受けている結果となりました。</p> <p>必須事業については、6月よりアクアピクスを再開し、8月より障がい児水泳教室を再開しました。事業開催回数としては、全131回実施しました。自主事業教室については、4月、5月と一部事業を再開し、6月以降、全ての事業を再開しました。事業開催回数としては、全687回実施しました。</p> <p>収入面においては、新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金は計画比65.9%、自主事業収入は計画比30.3%となりました。R5年度については、新型コロナウイルス対策を継続しながら、定期的にイベントや周知活動で集客回復を図り、利用者の方の健康増進のための運営に努めていきます。</p>
所管課による所見（指摘事項など）
<p>総利用者数の前年比率は、新型コロナウイルス感染症対策による利用制限の緩和に伴い、増加しています。少しずつ利用者が戻りつつあり、利用者が増加している点は評価できます。しかし、一方で、プール監視システムが故障しているため、その分の人員配置により、人件費が増加している点が課題としてあげられます。また、自主事業については、事業が再開しつつありますが、自主事業収入は低く、引き続き課題となっております。今後も引き続き、課題解決に向けて、事業の展開に取り組み、利用者が利用しやすい施設運営に努めてください。</p>